

## S-7100

当社の近赤外分光技術を結集した、  
小型、高性能の近赤外分光光度計です。

波長範囲1200nm～2500nmの反射スペクトルを1秒/スキャンにて測定します。  
測定したスペクトルから統計解析により成分を算出表示することができます。

## ● 装置外観



## ● 装置仕様

波長範囲	1200～2500nm
波長分解能	20nm
測定方式	近赤外分光反射率
測定速度	1秒/1scan
インタフェース	USB
本体形状	240(H)×370(W)×242(D)/11kg
本体電源	AC100～240V
消費電力	200VA

## 標準付属品

- 本体
- 測定用ソフトウェア
- 試料用カップ
- 基準白板
- ACケーブル

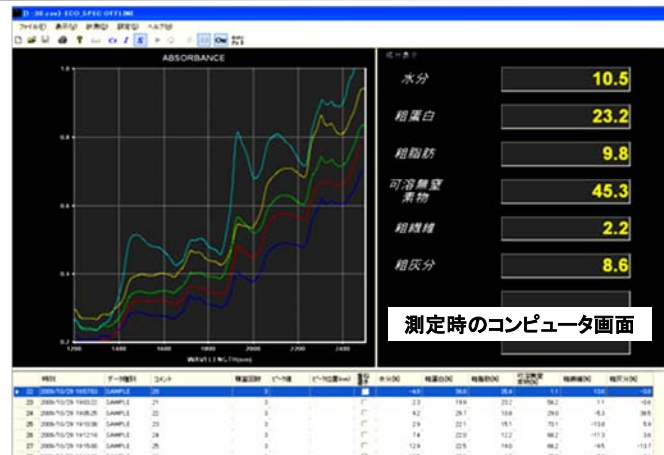
## オプション

- 粉碎器
- 試料室用クリーナ
- DLL OLUP/ OLUC
- THE UNSCRAMBLER

# S-7100

## ● 計測プログラム

中央に吸光度スペクトル(1200~2500nm)、右端に対象とした成分項目名と成分推定量、下段には、測定した試料のスペクトルデータリストが表示されます。  
測定された試料のスペクトルと化学分析による実測値からアンスクランパーにより検量線を作成すれば、その検量線と成分未知試料スペクトルから、成分値を推定できます。  
成分算出プログラムOLUP(オプション)を組み込めば、この検量線を測定プログラムに組み込み、成分のリアルタイム



## ● 試料室

試料は粉碎して試料カップに適量入れ、重りを入れて測定します。  
次に試料室内の試料台にセットし、パソコンから測定開始を指示することにより測定が開始されます。  
この試料台は、モーターにより回転させることが可能で、試料カップ内の数ポイントを測定する事ができます。この回転機構により、試料の粉碎状態が不均一でも、平均化されたデータを得ることができます。



## ● アプリケーション

本装置により測定したスペクトルと成分実測値を統計計算プログラムUNSCRAMBLER(オプション)により処理することにより、検量線ファイルを作成することができます。この検量線ファイルを使用して、未知成分の試料についてその測定されたスペクトルから成分値を算出表示させることができます。下記の表に示すように様々な測定対象

### 測定例

測定対象物	測定成分
米・麦	水分／蛋白／脂肪／繊維
お茶	全窒素／水分／カフェイン／テアニン
堆肥	全窒素／全炭素／全リン／酸性デタージェント繊維／可溶性窒素
土壌	全窒素／全炭素／リン酸吸収係数／塩基置換容量
葉	水分／窒素
各種飼料	水分／粗蛋白／粗脂肪／粗繊維／炭水化物／粗灰分

- 本仕様、外観は改良のため予告なく変更することがあります。
- カタログと実際の商品の色は、撮影・印刷の関係で多少異なる場合があります。

● お問い合わせは下記まで

**Soma** 株式会社 相馬光学

〒190-0182  
東京都西多摩郡日の出町平井23-6  
TEL : 042(597)3256 FAX : 042(597)3208  
E-mail : sales@somaopt.co.jp  
URL : http://www.somaopt.co.jp

[販売代理店]